

節電と言えば、今年の夏は節電の数値目標が設定されないようだから、計画停電も無いと考えて良さそうだね。

どうして、数値目標を設けないんだろう。

各地域で一定の供給余力を確保できる見込みがあるからだよ。今年8月の供給余力を示す「予備率」、九州は3.1%と予測され、安定供給に最低限必要な3%以上を確保したとしているからね。

だからといって、好き放題電気を使っていいわけじゃないよね。

ボーイの言うとおり。だから、自分たちで電気を創りだす「創エネ」も、家庭内での節電やグリーンカーテンのような建物の断熱化などといった「省エネ」の取り組みもどちらも大切なことなんだよ。



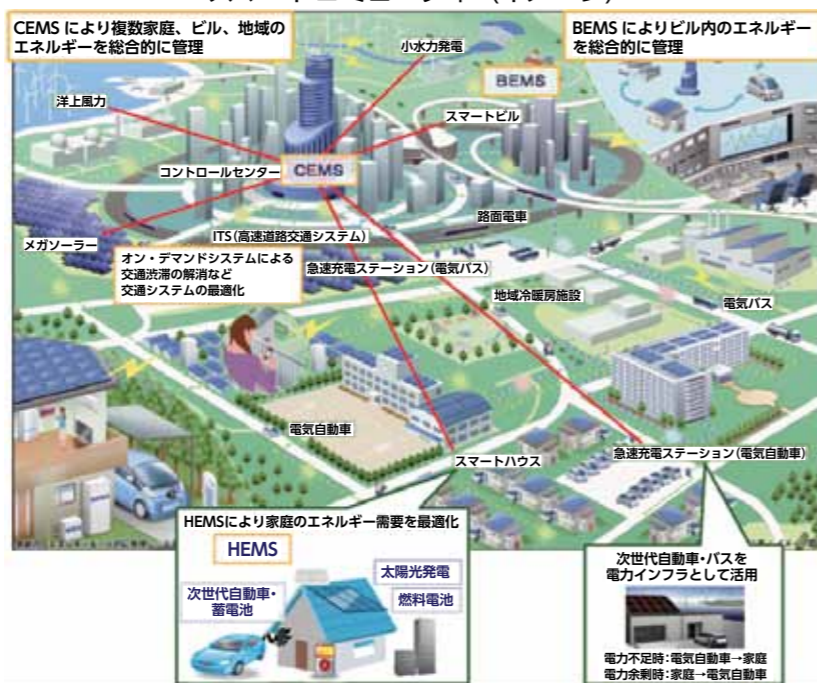
役場庁舎南側の「グリーンカーテン」の様子(平成24年度)

再生可能エネルギーの抱える課題って、将来どうなるのかな。

再生可能エネルギーの課題として、「コスト面」や「電力供給の不安定さ」が挙げられるね。「コスト面」については、先ほど話した「固定価格買取制度」により現在、市場規模が拡大しているから、それに伴いコストが低減していくことが予想されているよ。「電力供給の不安定さ」については、以前、「蓄エネ」で少し触れたけど、「EMS」(エネルギー・マネジメント・システム)の活用で、最適なエネルギー利用の自動制御が可能になると言われているよ。

EMSって何だっけ？

家庭(ホーム)におけるエネルギー管理を行う「HEMS」や、ビルにおけるエネルギー管理を行う「BEMS」、HEMSやBEMSを含めた地域(コミュニティ)全体のエネルギー管理を行う「CEMS」などのことだよ。双方向ネットワークを構成し、再生可能エネルギーや蓄電池などを制御・管理することで、エネルギーを無駄なく使うことを目指すんだ。将来は、このような「スマートコミュニティ」が普及すると思われるよ。



(出典：経済産業省ホームページ)

スマートコミュニティは、モニターによる電力使用量の「見える化」やエネルギーの最適化のための「機器制御」などを通じた、地域全体としての「省エネ」活動にも繋がる取り組みなんだね。

現在、スマートコミュニティに関する実証実験「次世代エネルギー・社会システム実証事業」が、横浜市、豊田市、京都府(けいはんな学研都市)、北九州市の全国4カ所で実施中だよ。企業や住民、自治体などが地域一体となってこの取り組みに参加、太陽光や風力など、多様な供給源から生じる電気をEMSで管理し、インターネットなど分散型ネットワークで無駄なく使用しているんだ。各地の特性に応じたスマートコミュニティが検証されており、これらの結果が将来、国内外に展開されることになるだろうね。

●問い合わせ 役場企画課 新エネルギー政策係 ☎096(293)3118

## シリーズ「再生可能エネルギー」って何だろう？⑩



これまで、さまざまな「再生可能エネルギー」について勉強してきたボーイ。最終回はこれまでの内容を少し振り返ってみましょう。

ボーイは「固定価格買取制度」って覚えているかな。

これまで学んできた「太陽光発電」などの再生可能エネルギーをたくさん導入するため、国が平成24年7月からスタートさせた制度だよ。

そのとおり。平成25年2月末時点の導入状況は別表のとおりだけど、出力だけで考えると、固定価格買取制度開始後、約8カ月間で原発1基分(約100万kW)以上の導入が進んだことになるね。

運転開始はまだだけど、認定を受けた太陽光(非住宅)の設備容量が桁違いに大きいね。

よく気付いたね。太陽光(非住宅)には「メガソーラー」などが含まれているからだよ。

こんなに導入が進んでくると、電力会社も電気を買い取るのが大変そうだね。

そうだね。ただ、電力会社だけで買取費用を負担している訳ではないんだよ。電気を利用している私たちも「賦課金(サーチャージ)」といって、電気料金に上乗せする形で負担しているんだよ。だから、ボーイも払っているはずだよ。

えっ、そうなの？いつの間に払っていたんだろう。

電力会社から手元に届く「電気ご使用量のお知らせ」を確認してごらん。

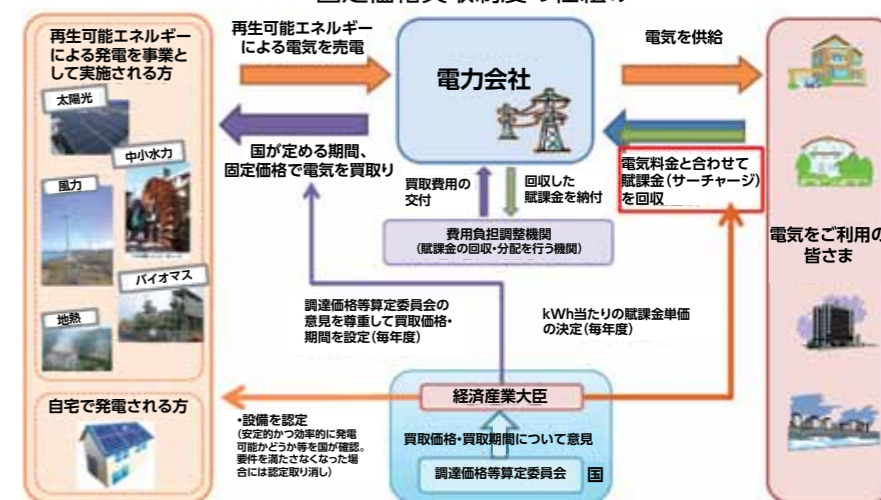
うわっ、本当に払っているね。電気代の節約のためにも、今年も節電に取り組むぞ！

【別表】再生可能エネルギー発電設備の導入状況

	2011年度末時点における累積導入量	2012年4月～2013年2月末までに運転開始した設備容量	(参考)2月末までに認定を受けた設備容量
太陽光(住宅)	約440万kW	113.7万kW (4～6月 30.0万kW)	124.6万kW (前月比+28.8万kW)
太陽光(非住宅)	約90万kW	42.2万kW (4～6月 0.2万kW)	1,101.2万kW (前月比+526.3万kW)
風力	約260万kW	6.3万kW (4～6月 0万kW)	62.2万kW (前月比+5.2万kW)
中小水力(1000kW以上)	約940万kW	0.1万kW (4～6月 0.1万kW)	2.3万kW (前月比+2.2万kW)
中小水力(1000kW未満)	約20万kW	0.2万kW (4～6月 0.1万kW)	0.5万kW (前月比0.1万kW)
バイオマス	約230万kW	3.6万kW (4～6月 0.6万kW)	14.7万kW (前月比+6.3万kW)
地熱	約50万kW	0.1万kW (4～6月 0万kW)	0.4万kW (前月比+0.2万kW)
合計	約2,000万kW	166.2万kW	1,305.9万kW

(出典：資源エネルギー庁ホームページを基に作成)

### 固定価格買取制度の仕組み



(出典：資源エネルギー庁ホームページ)

### 電気ご使用量のお知らせ(例)

